本紙は、県下60万の全世帯に毎月もれなく配布しています

昭和35年1月1日
発行編集　静岡県民会館
印刷　図書印刷株式会社

県民だより

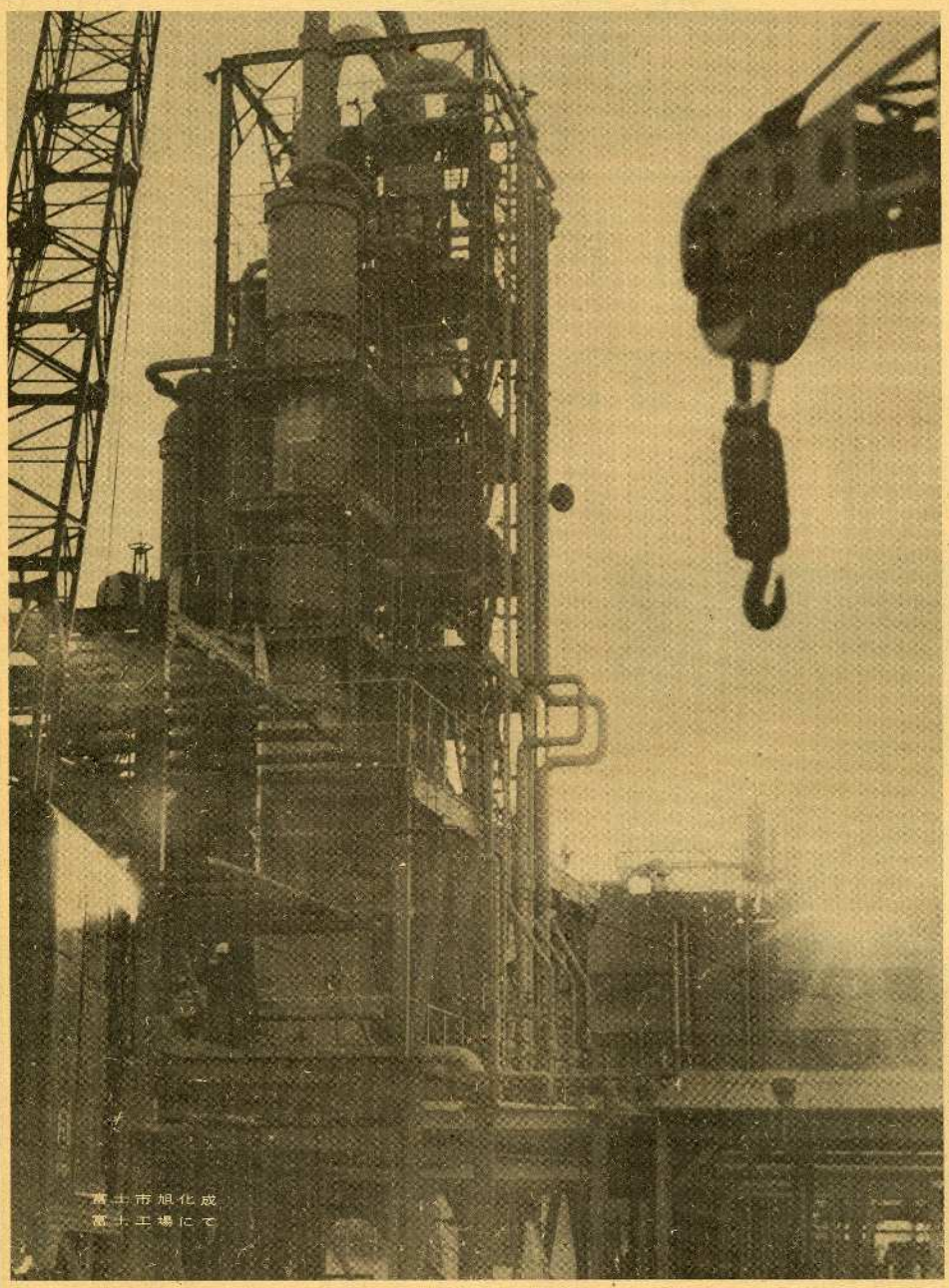
静岡県広報紙　1960年　第40号

長期予報

1月　前半は一般には晴天が多いですが、後半は余り長続きしない見込み。気温は平年並か高め。山岳方面の積雪も並か少なめ。

2月　冬型の年圧配置は余り発達せず、晴天は続かぬ模様。気温は月はじめと月末を除いて低め。

県政のPRは県民会館がやっています。



富士市旭化成
富士工場にて

迎春頌

大岡博

朝は
すべてを祝祭する
懐疑と混乱とは去り
太古の民は蘇る
転瞬する
未知への希望は
すでに四〇万キロを征服して
微光を放ち
蒼溟の彼方に
二十世紀の楽土を想う

嗚呼一九六〇年
人間の磁場は
無限に拡大され
破壊は建設へ約束される
悠遠なる哉
暁天に霜を踏んで
富嶽に傾く
銀河系を仰げば
地熱は裂帛の声を放って
噴煙をあげ
燦然として
人類の栄光と平和を讃える

（静岡県児童会館長
歌人　菩提樹主宰）

今年の選挙

熱海市長選　3月～4月
袋井市長選　9月～10月
天龍市長選　10月～11月
御殿場市議選　1月～2月
天龍市議選　10月～11月

このほか田方郡修善寺町長選、駿東郡原町議会議員選など十町村長選、八町村議会議員選。

夏炉冬扇

県西部の町で、十万年前の人骨が掘り出され、また三十万年前の化石がやはり県下で発見されたと聞く。三十万年前―よく落着いて考えてはじめて気が遠くなりそうな、その悠久さが胸に応えたとき、歴史の永さをかみしめるゆとりを持つことは、この頃とくに大切だと気がついた▼私たちが少年だった先頃、幼ない空想をかきたて育てた科学雑誌に、かすかず盛られた夢ものがたりは、いまもう実現したか、或はそれに近ずいている。ここ二・三十年の間のことだ。大変な世の中である。想像をこえたこの「人智のすばらしさ」も、歴史永遠の重きと共に、動かせない現実の問題といえよう▼しかし、測り知り得ぬ人間の進歩にも、ひとつだけ変らぬ真理はある。誰でもいつかは死ぬものということだ。生は尊といという常住無意識の意識があってこそ、進歩がある。憎しみも、愛も、斗いも生れる。"社会主義や、ヒューマニズムが大切にされるのもそのためだと思う▼止まるを知らぬ社会に渦れぬために、また、その要求によって、私たちの周囲に近代化への動きがとみに激しい。それは地をゆるがせて、とうとうと私たちをとりまき、押し流す▼そうあるべきだ」と時流を肯がいながら、やはり私は不安心だ。「たった六十年の短かい人のいのち。それらが互によりそい、支えあっているさ、やかな生活。それは、もっともっと大事にされるべきだ」と。

県立静岡女子短大学生募集

■本科
募集人員　文科約五〇名、家政科約七〇名。
願書受付　2月10日～3月5日
試験期日　3月16日～17日二日間
試験科目　国語・社会・数学・理科・外国語。
■専攻科
募集人員　英文科（〇名）、家政科（二〇名）。
受験資格　短期大学卒業者または昭和34年度卒業見込の者。
入学選衡　3月下旬
詳しくは静岡市北安東町県立静岡女子短期大学教務課へ。

県立静岡薬科大学学生募集

募集人員　薬学科約八〇名、
願書受付　1月25日から2月25日までの一月間。
受験地　静岡市大岩静岡大学
試験日時　3月17～18日二日間
試験科目　数学・理科・外国語
詳しくは静岡市小鹿静岡薬科大学教務課まで問合せのこと。

県立静岡総合職業訓練所訓練生募集

募集人員　電気機器修理科・線通信科・電工科・無溶接科・機械科・自動車整備科・機械製図科・塗装科・木工科・塗芸科。各科とも三〇名。各科とも一カ年。
訓練期間　4月5日
入所時期　学歴・性別不問。
応募資格　2月～3月の間
選考期間　1月5日～30日まで
申込受付　1月5日は静岡市有楽東静岡職業訓練所または近く静岡合職業安定所へ。このほか沼津にも総合職業訓練所あり。

告知板

推薦図書

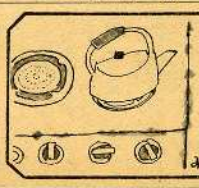
県優良文化財等選奨委員会選

生活の中の遺伝　講談社、湯浅明著
価一六〇円。高校生青年成人向日常の中にある遺伝に関した問題をわかり易く書いた解説書。

経済を動かすもの　岩波書店、都留重人著
価一〇〇円。成人向。経済の問題を女中と主婦の国民所得に対する見方や米の値段を決めるバリティ方式など身近な解説から中小企業問題など多岐に扱う。

新聞の秘密　光文社、堀一郎著
価一三〇円
高校生青年成人向。著者の二〇年にわたる新聞製作の体験から多くの実例を挙げて新聞への"反省問題"店新聞のあり方を示す。

生活の反省材料に
家計簿をつけましょう



ムラなく ムダなく
1月 熱管理強調運動

新春放談

斎藤知事と福島伊玖子さん

人類の長い間の夢は、「宇宙への挑戦」と「原子力のエネルギーへの利用」だといわれています。新らしい年、九六〇年を迎えて、この六〇年代の十年間にこれらの夢が実現できるか、あるいは実現の可能性が非常に大きくなっています。

かつての産業革命以上に変ぼうするこの時代に、静岡県の地図はどのようになるでしょうか斎藤知事に新春放談として今後十年間の夢をきいてみました。

きき手は今年成人式を迎え、新らたに選挙権を得られ、十年後には郷土建設の一人として参加することになる薬科大学学生の福島さんにお願いしました。

福島伊玖子さん　昭和14年静岡市に生れる。昭和33年静岡高等学校卒業。県立静岡薬科大学2学年在学中。現住所静岡市上沓谷2－8清川方。

斎藤寿夫県知事　明治41年静岡県富士郡田子浦で生れる。静高、京大法卒。昭和22年県総務部長26年知事当選。昨年1月三選して現在に至る。

福島　知事さん、おめでとうございます。

知事　あ……おめでとう。

福島　今年は一九六〇年というわけですが、新らしい年を迎えて知事の夢をきかせておくれるでしょうか。

知事　そうね。——数えなんでも若く見てもらおうと思うから正確な年を云った方がいいわ（笑）正確な年を云うと、五十一才とトカ月。

福島　お若いですね。

知事　若くはないが——あんたとくらべると、あんた方こそいいな。二十になったの。

福島　ええ、二十になりました。

知事　いいですね。

福島　一九六〇年を新しく迎えて、一九五〇年代というものを去って新しい年代に進んでいくと思うんです。ふり返ってみますと、この静岡県というものも、この五〇年代の十年間に目ざましい進歩をしていますね。いろいろな面で……。

知事　そう。まあ五〇年というものは、ずいぶんむつかしい十年でしたね。終戦後のあの混乱からようやくうちあがりかけて、まあ今日の安定期へ入ってきたんですけれども、これは日本全体にとっても非常に大きなテストケースであったんですねまあね。それにもかかわらず、やっぱり民族、国家全体としてしておるたくさんの事件がありましたね。心配されるような現象があったり、本当に社会的にも経済的にも、政治的にもいやなことがたくさんあって、日本民族というのは本当にこの難局を乗り切れるんだろうかというふうに心配された年というものがたくさんあったのですね。それにかかわらず、その復興ぶりは今日まあ世界の驚異と云われているんですね。西独と並び称されてどんどん進歩をするだろうと、みんながんばっていただくことを、こういうことですね。

福島　具体的に静岡県を眺めてみますと、昭和二四、五年——私たちがまだ小学校四、五年のころから、そういった開発面のこうやってきて、そういった開発面の見通しがこれは持てるとしたら、非常に明かるくなってくるんですね。

知事　そうですね。終戦後の静岡県の持っておる資源ですね。そうしたものの中で未開発なものの、電力資源などというものがあったんですね。当時まうやく、終戦のドサクサから経済もだんだんとくなってくる。それは動力、電力というものはほとんど足りなかったんですね。で、当時——十年前は本当に電力という工業というものが必要だったんですね。

福島　今年は一九六〇年ということで、当時、十年前は本当に電力ということで、工業開発と云いますが、いろいろな備わる立地条件を活用しての静岡県の工業化というものが必要だったんですね。

知事　そうですね。——数えなんでも云うのかな。（笑）まあ一つ云って行くと、五十一才とトカ月。

福島　お若いですね。

知事　若くはないが——あんたとくらべると、あんた方こそいいな。二十になったの。

福島　ええ、二十になりました。ちょうど。

知事　いいですね。

福島　一九六〇年を新しく迎えて、一九五〇年代というものを去って、それに加工して出すというのが、日本の置かれた国の運命なんですね。これを第一にしなきゃならん。八千万、九千万——やがてこの六〇年代に一億になるかもわからん。この人口を養っていくには、どうしても工業に移行していかきゃならん。それには北海道も一つの方法でしょうが、やはり臨海を待つ東海道上の、あるいは九州、四国の瀬戸内海沿岸。そうして九州の北部。こうしたところは工業立地の条件としては非常に恵まれておる。で、農業というものと工業というものは、密接なものですね。これにこのあと一年というものは移行していくというのですね。

福島　工業化の問題でも、農業経営の方面からいけば、また繁くるような変化をしているんですね。

知事　そう。これは非常に一つの矛盾というのがあるんですが、ただ大きくやはり考えてみなきゃならんことは、日本全体としても静岡県としても繁くるような変化をしているんですね。

福島　具体的に静岡県を眺めてみますと、昭和二四、五年——私たちがまだ小学校四、五年のころから、そういった開発面のこうやってきて、そういった開発面の見通しがこれは持てるとしたら、非常に明かるくなってくるんですね。

知事　そうですね。終戦後の静岡県の持っておる資源ですね。そうしたものの中で未開発なものの、電力資源などというものがあったんですね。当時まうやく、終戦のドサクサから経済もだんだんとくなってくる。それは動力、電力というものはほとんど足りなかったんですね。で、当時——十年前は本当に電力ということで、工業開発と云いますが、いろいろな備わる立地条件を活用しての静岡県の工業化というものが必要だったんですね。

福島　今年は一九六〇年ということで、当時、十年前は本当に電力ということで、工業開発と云いますが、いろいろな備わる立地条件を活用しての静岡県の工業化というものが必要だったんですね。

知事　そうですね。——数えなんでも云うのかな。（笑）まあ一つ云って行くと、五十一才とトカ月。

福島　お若いですね。

知事　若くはないが——あんたとくらべると、あんた方こそいいな。二十になったの。

福島　ええ、二十になりました。ちょうど。

知事　いいですね。

福島　一九六〇年を新しく迎えて、一九五〇年代というものを去って、それに加工して出すというのが、日本の置かれた国の運命なんですね。これを第一にしなきゃならん。八千万、九千万——やがてこの六〇年代に一億になるかもわからん。この人口を養っていくには、どうしても工業に移行していかきゃならん。それには北海道も一つの方法でしょうが、やはり臨海を待つ東海道上の、あるいは九州、四国の瀬戸内海沿岸。そうして九州の北部。こうしたところは工業立地の条件としては非常に恵まれておる。で、農業というものと工業というものは、密接なものですね。これにこのあと一年というものは移行していくというのですね。

福島　工業化の問題でも、農業経営の方面からいけば、また繁くるような変化をしているんですね。

知事　そう。これは非常に一つの矛盾というのがあるんですが、ただ大きくやはり考えてみなきゃならんことは、日本全体としても静岡県としても繁くるような変化をしているんですね。

福島　工業化の問題でも、農業経営の方面からいけば、また繁くるような変化をしているんですね。

知事　そう。これは非常に一つの矛盾というのがあるんですが、ただ大きくやはり考えてみなきゃならんことは、日本全体としても静岡県としても繁くるような変化をしているんですね。

福島　具体的に静岡県を眺めてみますと、昭和二四、五年——私たちがまだ小学校四、五年のころから、そういった開発面のこうやってきて、そういった開発面の見通しがこれは持てるとしたら、非常に明かるくなってくるんですね。

知事　そうですね。終戦後の静岡県の持っておる資源ですね。そうしたものの中で未開発なものの、電力資源などというものがあったんですね。当時まうやく、終戦のドサクサから経済もだんだんとくなってくる。それは動力、電力というものはほとんど足りなかったんですね。で、当時——十年前は本当に電力ということで、工業開発と云いますが、いろいろな備わる立地条件を活用しての静岡県の工業化というものが必要だったんですね。

福島　今年は一九六〇年ということで、当時、十年前は本当に電力ということで、工業開発と云いますが、いろいろな備わる立地条件を活用しての静岡県の工業化というものが必要だった

県政のご意見、ご批判は県民室へ

富士美し

随筆

私は幼少時代を伊豆半島の真ん中の天城山麓の村で過したので、毎日のように北方に小さく形のいい富士山を仰いで育った。また中学時代は沼津に送ったので、これまた苦心なく富士山をまなかいに見て暮したわけである。

そうしたため、私は富士山が好きである。富士山へはまだ登ったこともないし、登ぼりたいとも思わないが、富士山を眺めるのは好きである。現在私は東京に住んでいるが、東海道線や中央線に乗ると、必ず車窓から富士を眺める。曇っていて富士が見えないとがっかりするし反対に美しい富士の山容がくっきりと青空に浮んでいようものなら、何か大きい幸福にでも見舞われたように気持が明るくふくらんで来る。

中央線で見る富士山は、私にとってどうしても裏側といった感じを払拭できない。山に裏も表もないわけだが、永年静岡県側から富士山を見つけて来た私は、反対側から見ると裏を見ているような気がするのである。いつか山梨県の人に、富士は裏から見てもなかなかいいものですねと言って、ひどく憤られたことがある。

中央線の車窓から見る富士では、八ケ岳の裾野、富士見駅あたりから見る富士が好きである。起伏の烈しい高原の遥か向うに望む少し尖った感じの富士は美しい。それから暫く行って、下諏訪あたりで遙か遠方に見えるのを最後に富士は車窓から消えてしまうが、それを淋しむ気持もちょっといいものである。私はいつも富士の方に気を取られて諏訪湖を眺めることはお留守になってしまう。

静岡県で富士を眺めるのはどこが一番いいかと、よく人に訊かれる。富士を眺める名所は静岡県には到るところにあるわけだが、どこが一番いいか、私には判断がつきかねる。千本浜の富士、黄瀬川の富士、田子の浦の富士、三保の富士、日本平の富士、それから伊豆半島では、三津海岸の富士、国士峠の富士等、私の知っている富士見の名所だけでも相当の数である。いずれも昔から富士見の名所として知られているが、近年喧伝され始めた場所である。

併し、こうしたところより、もっといい、匿れた富士見の場所は沢山あるのだろうと思う。

広重の数々の版画に見えているように、街道筋にも富士を見る名所は残っているだろう。私はそれを見る場所を探すだけの目的をもって、昔の宿場宿場や駿河湾に沿った町や村を経巡ってみたいものだと思っている。

私がこれまで静岡県で見た富士で「一番美しい」と思ったのは吉原の見沙門天の祭礼（ダルマ市）に行った時、田子の浦で見た富士である。四五年前のことで、同行者はカメラ・マンの浜谷浩氏であった。

寒い風の吹きつける日であったが、雲一つない晴れわたった空の下に、海岸近くの三陵を朱色のダルマが何千何万となくぎっしり埋めている光景は異様であった。ダルマ市の雑踏を脱けて田子の浦に立った時、そうした中を歩いて来た直後であったためか、真近かに仰ぐ雪を半分かぶった富士の美しさには、あっと思わず声をたてたものであった。私は波が砕けている海を背にして立っていた。清澄な空気、青く澄んだ空、丘を埋める朱色のダルマ、白い雪をかぶった富士、そして足許に砕けている波、――これだけの道具立てはなかなか揃わないものである。

それからは毎年のように、もう一度吉原の見沙門天の祭りの日の富士を見に行きたいものだと思いながら、まだそれを果さないでいる。私一人が見たいと思うだけでなく、多勢の人に吹聴して見せてあげたいものの一つである。

やはり五年ほど前の話だが、東京を夜明けるまで発って、暁方興津へ着いたことがある。新聞小説の原材のためであったが、その時興津へはいろうとする手前の海岸で見た早朝の富士の姿は、文字通り崇高な感じで、その厳しさが今も印象に残っている。

先年ある雑誌の投稿欄で「命ありて帰郷の途次に仰ぎたるあかつき」という題で、富士を歌った歌が、再び同じ校舎で授業ができることになりました。

われ夕暮の富士を忘れず」という歌を読んで感心した。作者がどこの人であったか記憶にないが、あるいは静岡県の人であったかも知れない。いい歌だからこそ覚えているわけだが、やはりそこに富士山が取扱われてあるということのために、特殊な感興を誘われたことは確かである。夕暮の富士の美しさを満喫するにはどこがいいであろうか。

歌と言えば、富士を歌った歌では、やはり西行の沢山の歌が好きである。西行の沢山の歌の中でも富士を歌った歌は取りわけ光っているように思う。小林秀雄氏もどこかで同じようなことを述べていた。

いのうえ・やすし　静岡県出身浜松一中・沼津中学に学び、四高・京大を卒業。作家。東京都世田谷区世田谷四～四一〇

実を結ぶ生活改善

うさぎが一役

引佐町"さくら会"

快適な農村生活を目指して、乗貯金で新生活運動に乗り出し、食改善や共同利用、さらに計画出産などに大きな成果を挙げている婦人グループがあります。引佐郡引佐町井伊谷の発足してから三年余りのさくら会（会長野沢律子さん）です。

引佐町は婦人会長の内山和さんや町教委西沢主事の発案でさくら会をはじめ全町でうさぎ貯金を行い、文部大臣賞を受けるなど、全国的にも有名なところ。

うさぎは現在パン用の材料として高価で取引されています。三カ月程度の短かい飼育で換金できる上に、飼料のクローバーも田用のあぜ道で手軽に栽培できるもの。また資本も誰かで飼育管理が易しく、繁殖力も極めて旺盛とあって農村では格好な収入源です。しかも婦人会では、うさぎの飼育で得た収益を主婦の懐に入れるものと決め、姑さんや主人に握られている農家経済の中で、主婦の自由になる貴重なものです。

さくら会ではうさぎの飼育で得た収入を生活改善の財源にふりむけ、台所や風呂場の家屋の改善のほか、パン食を積極的にとり入れる食改善を行いました。

特にパン食では、内山婦人会長は「パン食にとり入れた中の一日の中一食はパン食とする決め、姑さんの理解を得て、完全食の工夫をしています。はじめた当初はお腹にたまらぬと思っていたパン食が意外に腹もちのよいことが判り、今では多くの家庭で一日の中一食はパン食として定着しています。また余暇利用では娯楽機関の少ない農村部だけに大きな問題ですがバレーの普及や町教委の視聴覚器材を利用して積極的な活動を続けています。

一方計画出産では、役場の大石保健婦の厳身的指導で全体的にもまれな優良事例といわれています。さくら会ができる前、部落では住職中絶が非常に多く、中には一人で七回も中絶した人もいたとのこと。そこで部落の若妻たちが集ってというのがさくら会発足の一つの動機ですが、大石保健婦を中心に毎月一回研究会をもち、調節問題ばかりでなく、家庭での理解を得ようとの話し合いが進められました。この結果中絶は、母性保護の立場から一昨年一件あっただけ。昨年は出産のぞんだ七人以外は妊娠しなかったとのことです。しかしもっと大きな収穫は、とかくありがちな姑との溝がこの研究で取り除かれ、各家庭が家族の世話まめ愛情と協力によってますます発展していることです。

大石保健婦の話　計画出産は通り一辺の相談では解決するものではなかなかに研究することです。さくら会はうさぎという経済的に有利な点もありますが、中絶の苦しみの中から生れたところに、この成果の鍵があります。今後はより多くの方々に入会していただき、さらに教養面をも深く身につけて、人間味ある快適な生活をおくっていただけたらと考えています。

（写真は内山婦人会会長）

解消する無灯部落

五年後に八割を目標

農林省では五カ年計画として一三万年間で、未点灯戸数約一三万戸の八割に相当する戸数を解消します。

県経済部、農地部の調べでは県下の未点灯数は、磐田郡一般農家、開拓農家合わせて五百戸をこえています。

農林省では五カ年計画として一三万年間で、未点灯戸数約一三万戸の八割に相当する戸数を解消します。計画によりますと、一般農家では二五年度から三九年度の五カ年間で、また開拓農家では三五年度から三七年度の一般農家、開拓農家合わせて一三万戸の八割に相当する戸数を解消します。

県経済部、農地部の調べでは県下の未点灯数は、磐田郡部落が家族の世話まめ愛情と協力によってますます発展していることです。

県民室

県民室には、毎号この欄で県民の皆さんからの照介や質問にお答えしていますが、新らしい年を迎えて今年もまた新らたな気持で、皆さんのご意見、ご要望を県政に反映させるために頑張りたいと思っています。

そこで今年は次のことを特に皆さんに提案します。

"国、県、市町村の政治について、意見・批判・要望がありましたら、大臣・知事・市町村長、それに番出議員・政党にすぐ手紙を出すようにしましょう。

政治のあり方は、皆さん方の日常あるいは将来の生活に大きな影響があります。

ご意見を知事たちに直接手紙で

今の政治に二言見をお持ちの方は沢山いらっしゃることと思います。皆さんのご意見、ご要望がどしどし政治に反映されてはじめて私たちの国や郷土は、良くなっていきます。

アメリカでは、大統領が教書などを発表した途端、全国から日に四千通位の手紙が、国務省に殺倒するそうです。

県知事、県庁各部課に関係するものは「県庁内県民相談室気付」でどしどしお寄せ下さい。

政党や県議会議員あてのものは、直接議員またはそれに属する政党（県庁内自民党県連事務局、県庁内社会党県連書記局あて）に出して下さい。

（静岡市追手町県庁玄関脇県民相談室）

大東小（中伊豆町）落成

一昨年の狩野川台風で校舎の大部分を流失した田方郡中伊豆町大東小学校が、去る十二月完成しました。

総工費約千三百万円、二階建二百坪のモダンな校舎で、図書館、理科教室など特別教室をふくめて八教室がそれ。また教室は密を大きくとり、光を沢山採り入れて快適な授業ができるよう工夫されています。

大東小学校は、狩野川台風に流失してから、各部落の集会所などで、分散授業していたもの。今度の完成で約一七〇人の生徒が、再び同じ校舎で授業ができることになりました。

（落成した大東小学校）

引揚、遺族国債の買上げ

台風被害対策

国では昨年の台風七号、台風十五号と八月の集中豪雨で、住宅が半壊程度以上の被害を受けて生活に困っている方のお持ちになる国債を買上げることになりました。買上げご希望の方は近くの市福祉事務所または町村役場にお出掛け下さい。

一、買上価格

国債の元金残高

二、実施期日

昭和三四年一一月から昭和三五年三月まで。

三、申込受付場所

市福祉事務所または町村役場

なおこのほか国債を担保とする生業資金の貸付制もあります。近くの市町村でおきき下さい。

公明選挙クイズ

（十一月号）正解

県民だより十一月発行第二八号の"公明選挙クイズ"の正解は次の通りです。

応募総数一万七百十二通の中、正解は四十六通でした。

県選挙管理委員会で関係者立会いのもと抽選の結果、左の十名に賞金千円をお送りしました。

（敬称略）

沼津市下香貫外原　藤原安代

磐田郡福田町　広岡武男
小笠郡菊川町　菅沼迪子
引佐郡三方日町　大矢礼子
浜名郡浜北町　山本磁郎
引佐郡三方日町　石川真澄
浜名郡浜北町　松本勝次
清水市入江　千須和茂
駿東郡小山町　田代八千代
田方郡土肥町　今井勝己

季節の手帳

ウインター・スポーツ

冬山シーズンは今がたけなわ。気象台の話では、今年の雪は昨年並みに期待できますが、氷結状態は余り良くない模様。それでも今月中頃から県内のスキー・スケート場も充分楽しめるとのこと。手近なスキー・スケート場を紹介しましょう。

御殿場スキー場　御殿場駅からバスで五〇分（百円）。旅館・山小屋完備（一泊・食六〇〇～一〇〇〇円）貸スキー・貸靴あり（各一〇〇円）。

篠坂スキー場　御殿場駅からバス四〇分（五五円）。山小屋（一泊二食五〇〇円、素泊一五〇円）あり。

小富士スキー場　御殿場・駿河小山各駅からバス一時間一〇分（一二五円）。旅館（一泊二食六〇〇～一〇〇〇円）。貸スキー・貸靴あり（各一〇〇円）。

須走スケート・リンク　御殿場駅からバス三〇分（四五円）。旅館（一泊二食六〇〇円～一二〇〇円）。貸靴あり（一〇〇円）。

この他スケートは山中湖・精進湖・箱根駒ガ岳センターなど日帰りのできる場所があります。

（静岡鉄道管理局）

ホーレン草

最近ホーレン草の中に含まれているいっう酸石灰という物質が人体に害をおよぼすとのことで一般消費者の間で大きな問題となっています。

しかし厚生省や県衛生部などで調べた結果、これまでのような食べ方、特に煮て食べれば、ほとんど害がないとのことです。むしろ野菜の王者にふさわしくカロチン・鉄分・ビタミンA、Cなどの栄養素を多く含んでいますので、これらの栄養素をとることの方が大切です。

冬はとかくビタミンなどが不足しがちです。体を丈夫にするためにもホーレン草を食べましょう。（農産課・公衆衛生課）

むつき

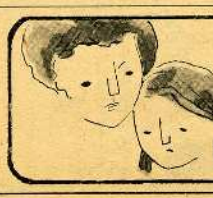
1日　元日・初詣で
6日　小寒
15日　成人の日
18日　土用
21日　大寒

きさらぎ

4日　節分
5日　立春
20日　雨水

いつまでも元気で

2月 成人病予防運動



心の病に愛情を

1960年世界精神衛生年